

嚮陽會館複合交流施設整備基本計画

参考資料編

目次

1章 市民意向調査等の結果.....	1
1. 既往アンケート調査等の結果.....	1
2. Web 市民・高校生アンケートの結果.....	3
2章 各種団体ヒアリング.....	6
1. 嚮陽会館関連団体の方からの意見.....	6
2. 市民活動交流センター利用団体の方からの意見.....	9
3. 子育て支援関連団体の方からの意見.....	12
3章 意見交換会(ワークショップ).....	15
1. ワークショップの概要.....	15
2. ワークショップでの意見.....	15
4章 「市民主役所」化構想(市民提案).....	17

1章 市民意向調査等の結果

1. 既往アンケート調査等の結果

鯖江市では、さばえ遊び場アンケート調査や鯖江市政に関する市民アンケート、にじいろフェスタや子育て応援フェスタなどのイベント開催時におけるアンケート調査等様々なアンケートを実施しています。また、市長と子育て世代の市民との座談会や市民とママカフェ、PTA 座談会などのヒアリング調査等も実施しています。

これらの鯖江市が過去に実施した子育て支援に関する各種の市民アンケートやヒアリング調査等からは、屋根付き広場のある公園や雨や雪の日でも使える大型複合遊具や木のおもちゃ等のある屋内の遊び場といった荒天時に遊べる子どもの遊び場の要望が見られました。

また、遊び場に求める機能としては、鬼ごっこやボール遊び、体操など体を動かすことができたり、工作やモノづくりなど創作力を伸ばす遊びやイベントが提供されたりすることを求めています。

その他、遊び以外の機能としては、同年代の子どもがいる保護者との交流や相談場所、飲食をしながら子どもを見守ることができる空間を求めています。また、子どももお年寄りも、障がいのある子どもも利用できるようなユニバーサルデザインへの対応、トイレのおむつ交換台、子どもトイレの整備など子育て世代が利用しやすい施設整備や Wi-Fi 環境の整備等が求められています。

ソフト的な要望としては、子どもの見守りや勉強を教えてもらえるような取組みや一時預かりなど保護者が自分の時間を持てるような取組みが求められています。

子育て支援に関する既往調査の結果

項目	市民意向調査の結果概要【主な意見】
鯖江市に不足している施設、充実してほしい要素	<ul style="list-style-type: none"> 芝生や遊具、屋根付き広場のある公園(5) 母親や父親同士で情報交換、交流できる場、専門的な相談ができる場(5) 雨や雪の日でも使える屋内の遊び場(4) 子どもが体を使って遊べる環境(空間・設備・道具)(2)
遊び場に求める機能	<ul style="list-style-type: none"> 遊べるスペースが年齢に合わせて区分されている、又は時間ごとにスペースを分けて安全に遊べる(3) 子どもが体を思いっきり動かせる(2) 子どもの創作力を伸ばせる遊びができる(1) 学べる機会やイベントがある(1)
屋内遊戯施設に欲しい遊具	<ul style="list-style-type: none"> 大型複合遊具(3) 木のおもちゃ(2) エア遊具、ボールプール、ネット遊具、トランポリン(各1)
興味があった記憶に残った遊びや体験	<ul style="list-style-type: none"> バランスボール、木のおもちゃ、リユースプラレール(1) 段ボール迷路、サーキット、手形足形(1) 人形劇(1)
鯖江市の特色を出すための遊具・サービスのテーマ	<ul style="list-style-type: none"> レッサーパンダ、眼鏡・繊維・漆器、体操(2) 眼鏡・漆器・繊維を使った遊び場とかモノづくりができる場所(1)
遊具以外の遊び機能	<ul style="list-style-type: none"> みんなで工作ができる(4) 鬼ごっこやボール遊びができる(4) 体操など軽い運動ができる(2)
遊び以外の機能	<ul style="list-style-type: none"> カフェコーナー等飲食ができる(6) 同年代の子どもがいる保護者と交流ができる(5) 子育て世帯に関する知識や情報が得られる(5)
親自身が楽しむための要素	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを預けて、自分の時間が持てるような環境(2) コーヒーなど飲食物がある、子どもの遊び場付近で休憩でき見守れるとよい(2)
その他	<ul style="list-style-type: none"> 子どももお年寄りも、障がいのある子もない子も交流できる、遊べる(1) トイレのおむつ交換台や、子どもも利用しやすいトイレ(1) 子どもの見守りスタッフがいると安心できる(1) 誰かが遊び方を教えてくれる(1) 宿題を見てくれたり、勉強する場所(1) フリーWi-Fi(1) 無料で遊べる(もしくは料金が安い)(1)

※()内は回答数

2. Web 市民・高校生アンケートの結果

嚮陽会館の整備に関する Web アンケートを市民及び高校生を対象に令和5年12月11日～12月22日で実施しました。

アンケートの結果は、嚮陽会館の利用において市民の利用は多いものの、高校生の利用は少なく、鯖江市民活動交流センターは市民、高校生とも利用が少ない状況でした。

新たな嚮陽会館の整備に対しては、市民、高校生ともに「多目的に利用可能なホール機能」「レストラン・カフェ（飲食）機能」の改善や魅力の強化が望まれており、子どもの遊び場としては、市民、高校生ともに「子どもが遊具等を使って身体を動かし軽い運動ができる機能」の要望が多くなっています。

また、市民活動の活性化に向けて特に望まれる機能は、「多目的利用が可能な交流サロン機能」、「自主学习等が可能な学習スペース機能」の要望が多く、特に高校生で「自主学习等が可能な学習スペース機能」の要望が多いことがわかりました。

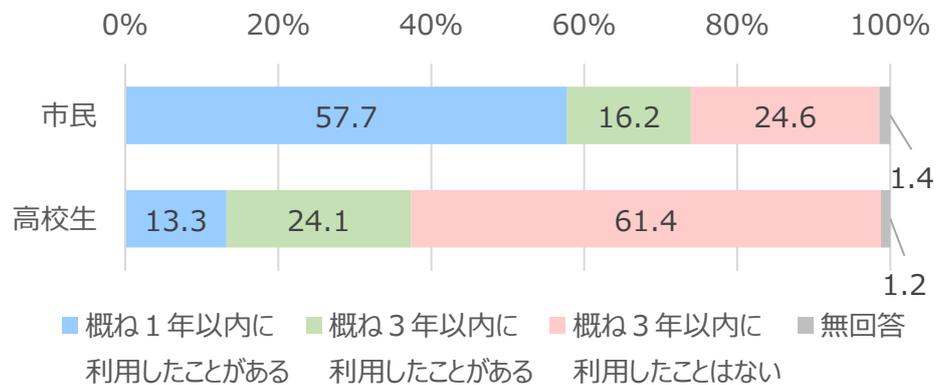
1) 回答者

回答者数は、市民 284 名、高校生 83 名でした。

市民の回答者の年齢層は、30 歳代が最も多く、次いで 40 歳代、50 歳代となっており、子育て層の回答が多い傾向となっています。また、お住まいは「鯖江地区」が最も多く、次いで「神明地区」「吉川地区」となっています。

2) 嚮陽会館の利用状況

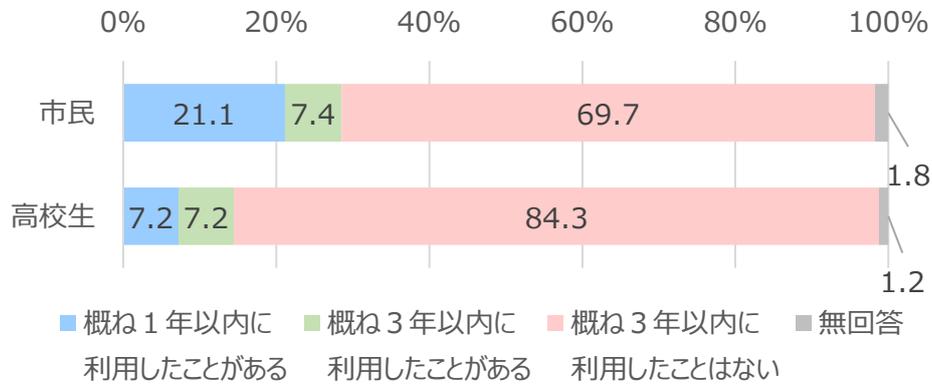
嚮陽会館の利用状況は、市民では、「概ね1年以内に利用したことがある」が約6割で最も多い。一方、高校生では、「概ね3年以内に利用したことはない」が約6割で最も多くなっており、高校生の利用は少ない状況となっています。



嚮陽会館の利用状況

3) 鯖江市市民活動交流センターの利用状況

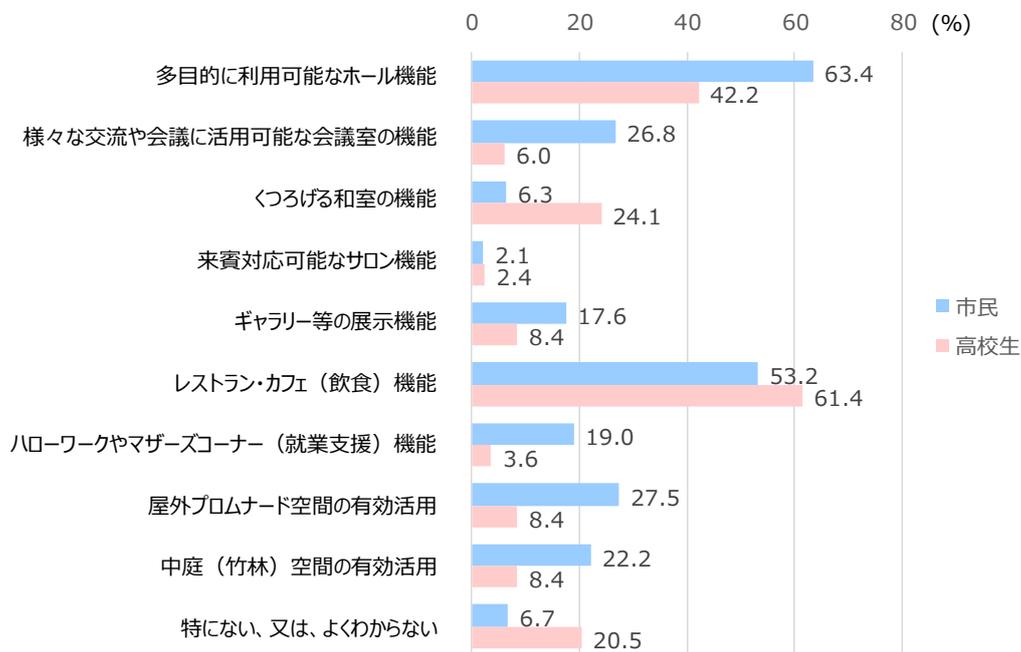
鯖江市市民活動交流センターの利用状況は、市民、高校生ともに「概ね3年以内に利用したことはない」が最も多く、鯖江市市民活動交流センターは、NPO 団体以外の利用が少ない状況となっています。



鯖江市市民活動交流センターの利用状況

4) 現嚮陽会館で改善や魅力の強化が望まれる機能

現嚮陽会館で改善や魅力の強化が望まれる機能は、市民、高校生ともに「多目的に利用可能なホール機能」「レストラン・カフェ（飲食）機能」が最も多くなっています。

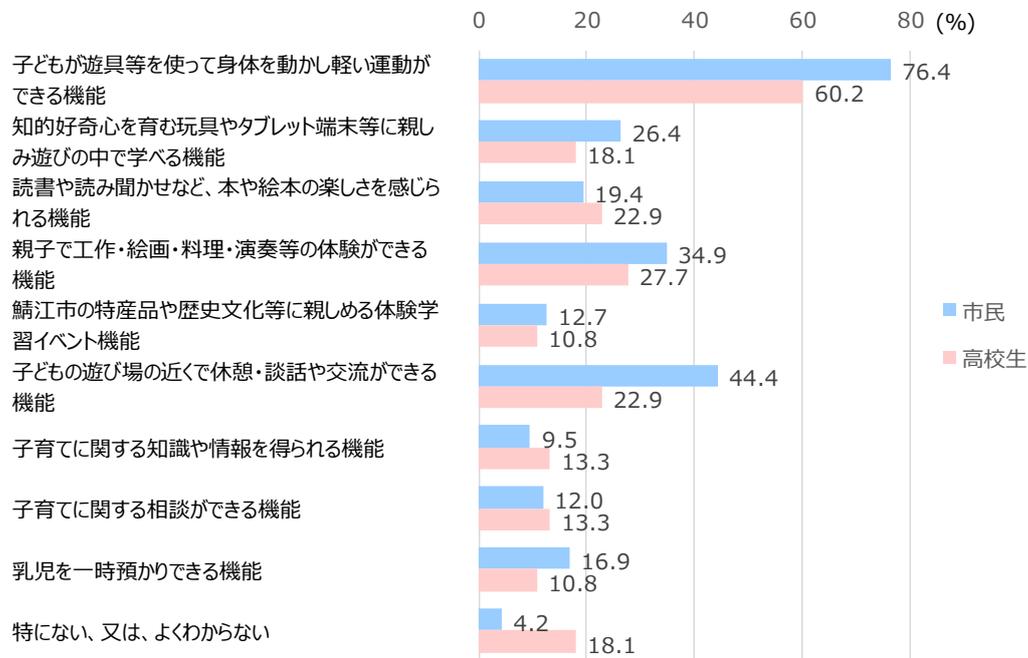


現嚮陽会館で改善や魅力の強化が望まれる機能

5) 現嚮陽会館で屋内型の子どもの遊び場として有効活用する場合に求められる機能

現嚮陽会館で屋内型の子どもの遊び場として有効活用する場合に求められる機能は、市民、高校生ともに「子どもが遊具等を使って身体を動かし軽い運動ができる機能」が多くなっています。

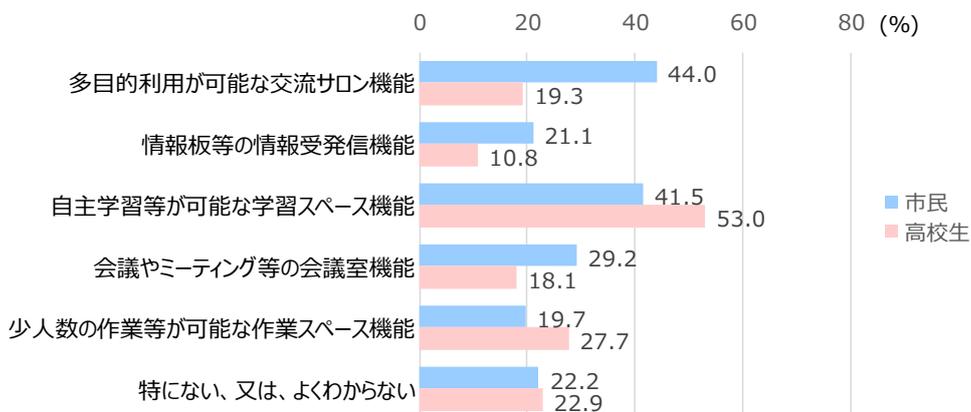
市民では、「子どもの遊び場の近くで休憩・談話や交流ができる機能」も多くなっています。



屋内型の子どもの遊び場として有効活用する場合に求められる機能

6) 現嚮陽会館で市民活動の活性化に向けて望まれる機能

現嚮陽会館で市民活動の活性化に向けて望まれる機能は、市民では「多目的利用が可能な交流サロン機能」、「自主学习等が可能な学習スペース機能」が多く、高校生では、「自主学习等が可能な学習スペース機能」が多くなっています。



現嚮陽会館で市民活動の活性化に向けて望まれる機能

2章 各種団体ヒアリング

嚮陽会館関連団体として3団体、市民活動交流センター利用団体として22団体、子育て支援関連団体として25団体へのヒアリング調査を実施しました。ヒアリング内容は、現嚮陽会館の利用上の課題を聞き取りするとともに、今後整備する屋内型の子どもの遊び場や市民活動センター機能に対する要望、鯖江市らしい施設として整備するためのアイデアなどについて意見把握を行いました。

1. 嚮陽会館関連団体の方からの意見

1) 現嚮陽会館の利用しやすい利用したくなる施設に向けた問題・課題や要望

多目的ホールの舞台の狭さや電動スクリーンなどの備品の不足、空調や照明の老朽化による問題、施設に備わっている備品の不備などの問題があることが指摘されました。また、屋外でのキッチンカー等の活用やイベント実施に対する要望、駐車場の台数不足、無料時間の延長などについての問題も指摘されています。

2) 屋内型の子どもの遊び場の導入に対する要望

屋内型の子どもの遊び場に対し、子育て世代が1日滞在できる場所や高齢者と交流できる場所が求められています。

屋内型の子どもの遊び場施設の整備としてバリアフリー対応や駐車場から雨に濡れずに行き来のできる通路の整備などが求められています。その他、おもちゃ病院、おもちゃ図書館、おもちゃの交換などおもちゃのリユースを進めるイベント等の開催や駐車場の無料化が求められています。

3) 市民活動の活性化に向けた NPO センター機能の整備に対する要望

NPO センター機能としては、各種団体の事務所及び会議室の設置、自由に入出入り出来る休憩室や談話室、ホワイトボードやモニターなどの設備の充実を求めています。また、軽食が出来るスペースの拡充が求められています。

4) 鯖江市らしい特色ある施設に向けた要望やアイデア

西山公園、嚮陽会館、道の駅西山公園、まなべの館などを一体的なゾーンとして考えたり、鯖江市の名産・特産品をアピールする展示を実施したりすることで鯖江市らしい特色を持たせることができるという意見をいただきました。また、落ち葉の堆肥化の取組みから自然環境保全を学んだり、遊び場、動物園、管理業者が協働したイベントを実施したりしては、という意見をいただきました。

5) その他、嚮陽会館整備や利用に関する要望

エレベータへの分かりやすい動線の確保や華やかな緑地帯などの施設整備に対する意見、イベント企画をしやすくするための情報提供、柔軟な料金体系や利用の仕組みづくりについてのご意見をいただきました。

関連団体へのヒアリングシート調査結果（嚮陽会館関連団体）

設問	区分	主な意見の内容
現嚮陽会館の利用しやすい利用したくなる施設に向けた問題・課題や要望	多目的ホール	<ul style="list-style-type: none"> • ステージの奥行確保、舞台袖のオーディオスペースの確保 • 電動スクリーンの導入 • 多目的ホール全体への間仕切り用電動設備の導入
	設備	<ul style="list-style-type: none"> • 適切な空調設備の整備 • 白色(LED)に入れ替え • 館内のコンセントの増設と、容量の確保
	備品	<ul style="list-style-type: none"> • 備品の購入(展示パネル、有孔ボード、長テーブル、演題掲示板)
	運営	<ul style="list-style-type: none"> • 消防や保健所との連携を会館が強め、申請などを簡略化する
	屋外	<ul style="list-style-type: none"> • キッチンカーの設置できるスペースや、屋外でのイベントができるスペースがほしい • 電源、炊事場などの設備の増強 • 隣接地に市民がくつろげる café(スターバックス等)の誘致
	搬入口	<ul style="list-style-type: none"> • 車で館内に入ることができたり、車の乗り入れの緩和 • 屋根のない入口が必要
屋内型の子どもの遊び場の導入に対する要望	駐車場	<ul style="list-style-type: none"> • 駐車場台数の確保 • 公園等のスペースを駐車場にしてはどうか • 駐車場の入庫・出庫のしやすさの改善 • 無料駐車場の時間の拡大(4時間まで無料) • 4時間無料、以降一時間ごとに100円加算など長時間とめると負担が多くなる設定にする
	利用イメージ	<ul style="list-style-type: none"> • 子育て世代が1日滞在できる場 • 高齢者と交流できる場
	施設整備	<ul style="list-style-type: none"> • ベビーカー(高齢者、車いす)などを考えるとバリアフリーが望ましい • 3Rの観点、高齢者の活躍の視点からのおもちゃ病院、おもちゃ図書館、おもちゃの交換の取組み導入 • 民間のおもちゃ図書館の導入 • 「子どもの遊び場×おもちゃの3R」リユースや地域交流イベントの実施 • 雨に濡れないよう駐車場から建物までの屋根付き通路がよい
市民活動の活性化に向けたNPOセンター機能の整備に対する要望	運営	<ul style="list-style-type: none"> • 遊び場利用の際の駐車場の無料化
	活動環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> • 各種団体が入れる事務所及び会議室の設置 • ホワイトボード、モニターなどWSを促進する設備といった環境の整備 • システム思考、ファシリテーター、グラフィックレコーディングをできる人材の施設内常駐 • 市民が、自由に出入り出来る休憩室や談話室を設けてほしい • 軽食が出来る施設の充実
	イベント	<ul style="list-style-type: none"> • 鯖江のシンボルである西山公園を中心に、嚮陽会館、西山動物園、道の駅西山公園、まなべの館の各施設と市民活動団体が連携し交流イベントを開催

設問	区分	主な意見の内容
鯖江市らしい特色ある施設に向けた要望やアイデア	鯖江のPR	<ul style="list-style-type: none"> 鯖江市の名産・特産品をアピールするコーナーを設け、産業又は経済等の展示施設を設ける
	周辺施設との連携	<ul style="list-style-type: none"> 買い物ができる環境と活動の場との連携を探る 西山公園を中心に嚮陽会館を核とした市民の交流ゾーン、道の駅西山公園・西山動物園を核とした観光ゾーン、まなべの館を核に芸術文化ゾーンとしてゾーニングし、エリア全体で観光客の集客と利用促進を図る 嚮陽会館のギャラリースペースが縮小される場合、市民の芸術文化活動を発表する場としての展示スペースの確保が必要であり、隣接する専門施設の充実をお願いしたい
	落ち葉の堆肥化	<ul style="list-style-type: none"> コンポストによる落ち葉等のたい肥化(ごみの減量、資源循環) たい肥化された腐葉土にカブトムシなどの幼虫が住み、それを子どもたちに配布する、という様な自然環境保全、遊び場、動物園、管理業者の協働したイベントの実施
その他、嚮陽会館整備や利用に関する要望	施設整備	<ul style="list-style-type: none"> エレベータへの分かりやすい動線 華やかな緑地帯の整備 嚮陽会館と西山公園間の道路(階段下あたり)の横断歩道整備
	運営	<ul style="list-style-type: none"> イベントの企画をするための会館の平面図、備品のデータ共有 利用者のすそ野を広げるための柔軟な会館の料金体系 主催者の費用負担を少なくするため、主催者が清掃できるような仕組み

2. 市民活動交流センター利用団体の方からの意見

1) 市民活動の活性化に向けて必要なセンター機能や施設・設備等

さばえ市民役所として、集える場、稼ぐ場、学ぶ場、力つける場、繋ぐ場として活用を求めており、NPOを支援する団体の事務所や団体の固有スペース、コワーキングスペース、フリーWi-Fi、セルフ式カフェスペース、会議室、自主学习スペース、イベントスペースなどの活動スペースや、テーブルや椅子等の備品の提供などを求めています。

運営に関しては、専門的なアドバイスやコーディネータなどの人的配置や、指定管理者の直接的な話し合いを可能にする仕組み、柔軟なルール設定などを求めています。

2) 嚮陽会館内施設や西山公園、道の駅等と連携した新たな活動に対する意向と活動のアイデア

子どもの遊び場としては、ワイプラザ内のキッズスペースと重複しない子どもたちが能動的に楽しめる遊び場や子どもの創造性、自発性を育む遊び場などの整備、屋外での遊び場が求められています。また、あわせて年齢や発達に応じて遊び場を柔軟に利用できる仕組みづくりも求められています。

子どもの遊び場以外では、フリースクールや学童保育、一時預かり場、保護者が安心して過ごせる休憩スペースやカフェなどの施設整備が求められています。

3) その他、嚮陽会館整備や利用に関する要望

施設整備については、プロムナード(ギャラリーの外側)や中庭(竹林)などの屋外スペースの有効利用、ギャラリースペース、ホール、カフェスペースを一体的利用などが求められています。

運営面では、開閉館時間をフレキシブルに利用できるような取組みやセキュリティ、安全面への配慮が求められています。

駐車場については駐車場の拡充とともに公共交通利用を促進する取組みなどの組み合わせが必要ではないかという意見が出ています。

関連団体へのヒアリングシート調査結果（市民活動交流センター利用団体）

設問	区分	主な意見の内容
市民活動の活性化に向けて必要なセンター機能や施設・設備等	利用イメージ	<ul style="list-style-type: none"> • さばえ市民役所として、集える場、稼ぐ場、学ぶ場、力つける場、繋ぐ場として活用 • 音楽を楽しめる場、気軽に集える場、会議打ち合わせの場、若者の学びの場、市民団体の相談・起業の場としての活用
	市民活動に必要な施設	<ul style="list-style-type: none"> • 1階に NPO を支援する団体の事務所（相談業務や受付のカウンター）を設置 • NPO センターに必要な団体の固有スペース（書類保管場所など）を提供 • コワーキングスペースを用意し、市民や団体が交流できる場所として活用 • フリーWi-Fi、セルフ式カフェスペース、充実した会議室、自主学習スペース、夜間や休日に急な打合せができる専用スペースを整備 • 備品の倉庫を設けて、イベント時に使えるテーブルや椅子を提供 • 車いす障がい者や全盲の方でも利用しやすく、交流したくなる設備 • 協力してイベントを開催できる場所が必要
	運営	<ul style="list-style-type: none"> • コーディネータの配置が必要 • 国、県、市への報告書類の提出時に専門的なアドバイスが必要 • 利用者と指定管理者の直接的な話し合いを可能にする仕組みづくり • 多様で自由度の高い施設を目指し、柔軟なルール設定を重視 • 駐車場の無料化
	施設間連携	<ul style="list-style-type: none"> • 周辺連携や他地域への拠点基地としての機能を整備 • 市民活動交流センターや近隣の公民館で行われている、教室やイベントを嚮陽会館で集約実施することを検討 • 施設ごとの役割分担の明確化
嚮陽会館内施設（ホール機能、子どもの遊び場機能など）や西山公園、道の駅等と連携した新たな活動に対する意向と活動のアイデア	子どもの遊び場機能	<ul style="list-style-type: none"> • 子どもたちが体力を付けられる仕掛けを設置したアミューズメントスペース • 子どもたちが能動的に楽しめる施設の提供、子どもの創造性や自発性を育む遊び場が必要 • 年齢や発達に応じて遊び場を柔軟に利用できる仕組み • 育児や放課後の子どもの世話をサポートするフリースクールや学童保育、一時預かり場 • 中庭を開放し天気の良い日は中庭でも遊べるような屋内外のしつらえ • 保護者が安心して過ごせる休憩スペースやカフェの提供 • 子どもの遊び場としてだけでなく、学生の探究活動の場を整備 • 子どもの遊び場を常設 • 嚮陽会館隣のワイプラザ内のキッズスペースとの重複を調整
	特色化や運営	<ul style="list-style-type: none"> • 市民の交流と活気の醸造：施設内で様々な活動が交差する一体的な空間、鯖江市の魅力を発信する拠点として活用 • 集いの場：老若男女が集う場所として、リタイア世代と子ども、若年層の交流を促進 • 施設の柔軟性を高めるため、固定した壁や設備を避け、必要に応じてスペースを変更できるようにする • 入場料の有料化：収益を次世代の遊び場施設に活用

設問	区分	主な意見の内容
嚮陽会館内施設（ホール機能、子どもの遊び場機能など）や西山公園、道の駅等と連携した新たな活動に対する意向と活動のアイデア	周辺施設との連携	<ul style="list-style-type: none"> • 西山周辺ゾーンとの連携:歩いて散策できる環境を整える • 街中や駅周辺との連携:市民活動の活性化につながる • イベントの連携:市民活動交流センターや、公民館で行われている教室やイベントを嚮陽会館で集約、実施し継続的に参加できる仕組みが重要 • パンダランドは明るく安全な通路を整備し、子どもや高齢者が利用しやすい環境をつくる
その他、嚮陽会館整備や利用に関する要望と理由	施設整備	<ul style="list-style-type: none"> • プロムナード(ギャラリーの外側)や中庭(竹林)などのスペースも有効利用を検討 • 現在のギャラリースペースを開放的に活用し、ホールやカフェと一体的に運用 • NPO センター利用者に十分な量の無料駐車スペースを提供 • 駐車場の拡充:集客と活用の両面を考慮
	運営	<ul style="list-style-type: none"> • 朝の利用時間を8時ごろからに変更希望 • 開閉館時間をフレキシブルに運営できる指定管理受託者が必要 • セキュリティや安全面への配慮 • 市民活動団体に無理な収益活動を要請しない • 会館利用者につつじバス・福武線運賃の一部を補助するなど、公共交通機関と連携
	その他	<ul style="list-style-type: none"> • 市民と行政の信頼関係を毀損しないよう、合意形成に配慮

3. 子育て支援関連団体の方からの意見

1) 子どもが遊びたくなるような屋内遊戯施設の内容に対する要望

屋内型遊戯施設は、誰もが利用でき、雨の日や雪の日でも遊べ、子どもと保護者が安心して利用できる環境整備が求められています。

具体的な施設としては、立体的な大型の遊戯施設や体を動かせる施設、制作活動や体験型学習など五感を刺激する施設の整備が求められています。

また、子どもたちの安全性を考慮し、乳児・幼児エリアを分けるなどの仕組みも求められています。

2) 子育てしやすいまちづくりに向けた施設整備への要望

親子での交流や親同士が交流、相談ができるスペース、子どもを預けて親がリラックスできる施設が求められています。また、子どもの遊んでいる様子を見守ることができるカフェも施設として求められています。

ソフト的な取組みとしては、子育てグッズのフリーマーケットやリユースイベント、ミニ体操教室などのイベントの開催が求められています。

その他、子どもの遊び場について安全で快適な環境や勉強ができるスペースの確保、授乳室やおむつ交換、子どもトイレなどの支援施設の整備が求められています。

3) 鯖江市らしい特色ある施設に向けた要望やアイデア

レッサーパンダの生活やメガネ、漆器の歴史等を動画で紹介したり、鯖江市の名所を記した大きな地図を設置したりして、子どもたちに鯖江の魅力を知ってもらう取組み、といったアイデアをいただきました。

また、特にメガネについては、眼鏡フレームの色づけや飾り付け体験、目に良いイベントの開催などのアイデアをいただきました。

その他、少子高齢化や気候変動など SDGs について考えるスペースを整備するなど、の意見をいただきました。

4) その他、子育て層の利用促進に向けた要望

監視カメラの設置、Wi-Fi 環境の整備、ベビーカーや小さいお子さんが移動しやすいユニバーサルデザインの導入、駐車場から入口までの屋根付き通路の設置などによる安全性と利便性向上が求められています。

また、利便性を高めるためのソフト施策として、事前予約制の導入や屋内遊戯施設利用者の駐車場無料化が求められています。

関連団体へのヒアリングシート調査結果（子育て支援関連団体）

設問	区分	主な意見の内容
子どもが遊びたくなるような屋内遊戯施設の内容に対する要望	利用イメージ	<ul style="list-style-type: none"> 雨の日や雪の日でも遊べる施設 子どもと保護者が安心して利用できる環境 誰でも利用できる場所
	体を動かせる施設	<ul style="list-style-type: none"> ボールプール、すべり台、ボルダリングなどの大型遊具 トランポリン、鉄棒、縄跳びなどの場所を確保 ユニバーサルスポーツなどの軽い運動ができる施設を提供 サッカー場、卓球などの運動施設 スポーツイベントの開催で子どもたちの運動機会を増やす 小学生以上向けのクライミングウォール
	屋内遊具	<ul style="list-style-type: none"> 大型の遊戯施設（例：大型ショッピングセンターやエンゼルランドふくい） トミカ、プラレール等の遊び空間 立体的な遊び場（例：だるまちゃん広場やかがにこにこパーク） 興味を引くキャラクターを描いたり、色鮮やかな遊具を設置 1人でも多人数でも楽しめる積み木やボールの設置 安全でシンプルな遊び場 幼い子どもが遊べる遊具広場を整備
	五感を刺激する施設	<ul style="list-style-type: none"> 制作活動やアートワークショップのスペース 磁石や科学に基づいた体験型学習を促す仕組み 内壁に物語の場面を描く仕掛け 仲間と協力して楽しめる遊びを提供 セグウェイ、VRなどの先端技術 魅力的な景品や非日常的な遊びを用意 子どもたちが楽しめる砂場を設置
	年齢別配慮	<ul style="list-style-type: none"> 乳児・幼児エリアを分けて遊べる場所
子育てしやすいまちづくりに向けた施設整備への要望	交流スペース	<ul style="list-style-type: none"> 親子で交流できるスペースを設ける 親同士が交流できる場を提供
	子どもが見える休憩スペース	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの遊び場が見える休憩スペースを設ける 子どもが遊ぶ姿を見ながら親同士で意見交換や情報交換ができるカフェを整備
	子育て相談や支え合い	<ul style="list-style-type: none"> 親や祖父母が気軽に相談できるブースを設置 子育ての大変さを理解できる場所をつくる 保護者同士が助け合える環境を提供、情報交換の場を提供 若いうちから子育てについて知識を広める機会をつくる フリーマーケットなど、物々交換や宣伝活動を通じて子育て家庭をサポートする取り組み
	イベント	<ul style="list-style-type: none"> 子育てグッズのフリーマーケットなど、地域の活性化に寄与するイベントを開催 着なくなった服を交換する場所や、読まなくなった本を格安で売る場所を整備 体操協会やスポーツ協会と連携して、ミニ体操教室を開催する
	子どもを預けられる施設	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを預けて親がリラックスできる施設を提供 休日でも子どもを預けられる保育施設を整備

設問	区分	主な意見の内容
子育てしやすいまちづくりに向けた施設整備への要望	その他の施設	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが遊ぶ床を暖かくしたり、安全なマットを敷く 勉強部屋を設置 安全安心なトイレを提供 トイレに授乳室やおむつ交換場所を充実させる
	駐車料金	<ul style="list-style-type: none"> 駐車料金を減免する措置を導入し、子育て世代の親が施設を利用しやすくする
鯖江市らしい特色ある施設に向けた要望やアイデア	鯖江らしさ	<ul style="list-style-type: none"> レッサーパンダの生活や眼鏡、漆器の歴史を動画で紹介する 鯖江市の名所を記した大きな地図を設置して、子どもたちに鯖江の魅力を知ってもらう 道の駅で眼鏡フレームの色づけ(飾り付け)体験を提供し、面白い観光スポットとする 名産の眼鏡フレームを活用した目に良いイベントを開催する 観光客や地域住民が楽しみながら料理のスキルを学べるカフェと協力してお菓子づくりのワークショップを開催 自然豊かな環境や体験ができる施設を整備 子どもが自ら考え行動できる施設の景観や内装に工夫を凝らし、視覚的な表示やデザインを取り入れる
	未来志向の協働スペース	<ul style="list-style-type: none"> 少子高齢化や気候変動などの課題に対処するため、システム思考やファシリテーターが活躍できるスペースを設ける ホワイトボードやモニターなどの設備を備え、市民活躍課と連携してSDGsで政策提言を行う場として活用する
	周辺施設連携	<ul style="list-style-type: none"> つつじまつりなどのイベントと連携して、西山公園の美しい自然を活かした体験イベントを開催する
その他、子育て層の利用促進に向けた要望	施設整備について	<ul style="list-style-type: none"> 安全性と便利さ向上のため、監視カメラの設置とWi-Fiの利用ができる環境を整備 清潔感を保ち、使いやすい状態を維持した移動式の授乳・おむつ替えテントなど、イベント時に活用できる設備 駐車場から入口までの屋根付き通路の設置 歩道の段差整備など、ベビーカーや小さい子どもが移動しやすい環境を整える キッチンカーやミニマルシェが出店
	利便性を高めるソフト施策	<ul style="list-style-type: none"> 午前と午後に分かれての人数制限(事前予約制など) 駐車場の無料化

3章 意見交換会(ワークショップ)

1. ワークショップの概要

令和5年12月15日、16日の2日間にわたり、嚮陽会館の整備・活用に向けてのワークショップを開催しました。参加人数は、15日が34人、16日が18人で、嚮陽会館を利用されている方、子育てをされている方、市民活動をされている方、高校生・大学生など、幅広い年代の方が参加されました。

ワークショップでは、全体説明として嚮陽会館の改修・整備のための基本計画策定の目的や、ワークショップの進め方を説明し、その後、班別に分かれて議論を行いました。

班別ワークショップは、15日は5班、16日は3班に分かれ、「嚮陽会館の利用促進に向けて改善すべきこと」「屋内型の子どもの遊び場に必要なこと」「市民活動の拠点として必要なこと」の3つのテーマに沿って意見交換を行いました。

また、嚮陽会館全体や、西山公園、道の駅等、周辺との連携も視野に入れた複合的な使い方について、アイデアを出していただき、各班で議論の結果を発表していただきました。

2. ワークショップでの意見

1) 嚮陽会館の利用促進に向けて改善すべきこと

嚮陽会館の施設が古く使いにくいいため、フレキシブルな空間利用や他の人の活動が見えるような工夫、中庭(竹林)の有効利用、飲食スペースを増やしたり、学生の自習スペースの整備などが必要であるという意見をいただきました。

また、利便性を高めるためのソフト施策として、WEBでの申請、利用時間の細分化、駐車場利用のしやすさの改善も求められています。

<ワークショップでの主な意見>

- 部屋の大きさを変えられるフレキシブルな空間に
- 利用者(一般市民、市民活動団体)が相互に交流できるように、他の人の活動が見えるように
- 施設が古くて使いにくい(館内放送・空調・Wi-Fiの改善、イス・机が重い、トイレにおむつ交換台がない、等)、バリアフリー化も必要
- 調理場や持ってきたものを食べられる飲食スペースがあるとよい
- NPOセンターがなくなるのであれば、学生の自習スペースがあるとよい
- 中庭(竹林)を有効に活用したい、今のままではもったいない
- 駐車場を使いやすく(利用料金の検討、駐車台数拡大、車と歩行者の動線の検討、等)
- 利用時の申請方法の改善(WEBでの申請、利用時間の細分化、等)

2) 屋内型の子どもの遊び場に必要なこと

屋内型の子どもの遊び場としては、誰もが一緒に遊ぶことができる施設であるとともに、年齢層によって遊ぶ場所を分けるなどの安全対策が必要であるという意見をいただきました。また、遊びだけではなく、工作、実験等の体験を通じて、鯖江らしさを学ぶような場所や体を動かせるスペースも必要であるという意見をいただきました。

その他保護者の交流や相談ができる子育て支援機能も整備されていることが望ましいという意見をいただきました。

<ワークショップでの主な意見>

- 障害のある子、園に行けない子も含めて、誰もが一緒に遊ぶことができるように
- 乳幼児のスペースをつくる(0~1歳のハイハイできる場所)
- 工作、実験等の体験を通じて、鯖江らしさを知ってもらえるように(親も含めて)
- 体を動かせるスペースがあるとよい
- 子育ての相談等、親同志の交流ができるように(子育て支援機能)

3) 市民活動の拠点として必要なこと

市民活動団体が交流できる場所や会議のできる共有スペース、機材の整備が求められています。また、市民活動を行う時の相談窓口や市民活動の情報発信をする機能などのソフト的な取組みも求められています。

<ワークショップでの主な意見>

- 会議のできる共有スペースや機材の設置(パソコン、プリンター、倉庫、郵便受け、等)
- 市民活動を行う時の相談窓口(サポーターの常駐、利用者の年齢に合わせた受付方法、等)
- 各団体が交流できる場(活動内容、活動場所、活動日等の情報交換)
- 市民活動の情報発信をする機能

4) 複合的な使い方・その他

西山公園・道の駅・ワイプラザ、まなべの館等周辺施設を含めたイベントや情報発信、総合的なコンシェルジュを用意し、行きやすさ、施設の利用しやすさを高めることが必要であるという意見が出ました。また、避難所としての機能の強化も必要であるという意見をいただきました。

<ワークショップでの主な意見>

- 西山公園・道の駅・ワイプラザとの連携(イベント、情報発信)
- まなべの館等、周辺までを含めたゾーニングの設定
- 行きやすい、明るいイメージにする(名前が読めない、愛称を付ける)
- 総合的なコンシェルジュがあるとよい
- 施設の利用状況、駐車場の混雑状況がWEBでわかるようにする
- 避難所機能の強化

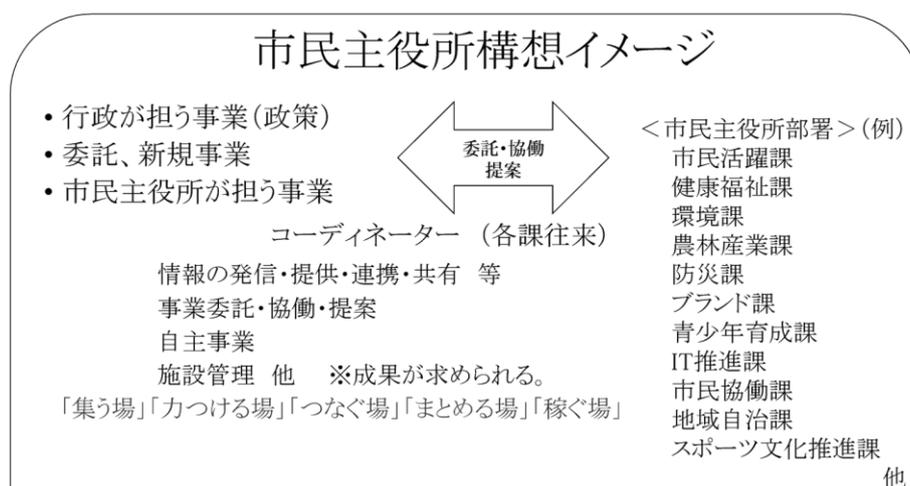
4章 「市民主役所」化構想(市民提案)

鯖江市では、市民が市政に主体的な参加を果たし、未来に夢と希望の持てる鯖江の実現に向け、市民と市がともに汗を流すという意志と、それを実現するために市の施策の基本となる事項を定めることにより、自分たちのまちは自分たちがつくるという市民主役のまちづくりを進めることを目的に鯖江市民主役条例を平成22年4月に制定しました。

「市民でつくる世界の SABAE」を市民主役条例推進キャッチコピーに掲げ、地域自治部会、市民参画部会、さばえブランド部会、若者部会など各部会で取組みを進めています。

嚮陽会館の整備についても「将来に向けて持続可能な市民主役の「場」をつくる」というテーマでワークショップを実施しています。

市民主役所構想では、鯖江市民活動交流センターについて、誰もが気軽に立ち寄ることができ、相談し、活動を後押しする拠点施設「市民主役所」としての機能強化を必要としており、『すべての市民・団体・組織(企業・行政等)』が(を)「集える場」「力づける場」「まとめる(まとまる)場」「稼ぐ場」「学ぶ場」づくりの方向が提案されています。



出典:「市民主役所構想」資料

市民主役所構想イメージ